



「食」で、みんなを元気にしたい。

ひとそれぞれ、食事の好み、体格、健康状態や、家計の状況も、さまざま。できないことを押しつけたり、強制したりするのはイヤ。一人ひとりにあった食事を提案したり、実際に続けられる手軽な方法を見つけてアドバイスしたり。大切な誰かをサポートするためのスキルは、プロのテクニク。

子どもたちの健康を「食」で支える。

栄養教諭としての実践的指導力を身につけるため、小中学校の教育現場で実習を行います。

[栄養教諭教育実習]

▼実際の教育現場で、児童生徒や教職員から学びます。



▲ 栄養教諭の使命や職務内容を理解し、模擬授業に向けた学習指導案や教材づくりに取り組みます。
[栄養教諭論、栄養教諭教育実習指導]

▼ 学生が実際に献立を作成し、調理した食事



好きが「学ぶ」を後押ししてくれる。知識や技術がついてくる。いろいろな力が身につく。「食」のおもしろさもわかる。おもしろいから、長続きする。

身につく力
人に寄りそう力

人が好き

相手にとって望ましい食事をサポートしたい。

栄養士としての使命や業務を理解し、相手の状況を知るための方法や具体的な支援の方法についての知識と技術を学びます。

[栄養指導論、栄養指導実習、対象別栄養指導実習]



患者さんに寄り添える食事を提供したい。

病気や身体の状態を考慮して、食事を調整するための知識と技術を学びます。
[臨床栄養学(食事療法)、臨床栄養学実習]

自ら1か月の食事記録、栄養価計算を行うことで、エネルギーやたんぱく質のとり方、それらをコントロールすることの大変さや難しさを学びます。その上で、患者さんの気持ちを推察します。

身につく力
やってみて確かめる力

からだを動かすことが好き

まずは、やってみる。

自ら体を動かし、やってみて、うまくいく「コツ」をつかむ。うまくできないように見えるまで、何度でもやってみる。わからないことは、その場で教えてもらえる。だから、技術が身につく。うまくいくのは、理論に基づいているから。自然と、理論もわかるようになる。

①ウォーキングにより呼吸を採取し分析を行い、その結果から消費エネルギー量を算出します。
[栄養学実験実習]▶



②スピードを変えて実際に自分で歩いてみて、その強度を測定します。
[健康づくり運動処方]



③健康づくりのための様々なスポーツの実践方法を学びます。[健康管理スポーツ実践]



④大切な子どもを守るため、教育現場で必要な救命技能について専門家から学びます。[教職実践演習]